

活動名	「子育て家庭とダブルケアを考える 井戸端Caféおいでまい」 ～子育て家庭の複合的な課題解決の場の提案～		団体名称	特定非営利活動法人子育てネットひまわり
			活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
			活動の目的	④子どもの居場所づくり
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果		■各スケジュールごとの活動内容
<p>家族や親族、地域関係の変化がみられる中で家族の晩婚化、晩産化(高齢出産)が進行している昨今、子育てと介護が同時期にやってくる「子育てと介護のダブルケア」が新たな問題として浮き彫りになっている。</p> <p>本事業では、このようなダブルケアをピアな関係性の中で共有できる「ダブルケアを考える井戸端～Caféおいでまい～」を開催し、ダブルケアラー同士をつなぐ場を提案した。</p> <p>実施に際してはゲストとして、介護や福祉、発達支援、臨床心理士などの専門家や先輩当事者を招き、より寄り添い型の支援をめざす。</p>		<p>◆2017 9月 10月～12月 ◆2018年 2月 3月～6月 7月 8月</p>		<p>広報・周知・プログラム準備 ダブルケアCafé①～③開催 前半のふりかえり・後半の計画 交流サロン・中間報告会 ダブルケアCafé④～⑥開催 報告書作成 事業終了</p>
■活動目標		<p>家族や親族、地域関係の変化がみられる中で家族の晩婚化、晩産化(高齢出産)が進行している昨今、子育てと介護が同時期にやってくる「子育てと介護のダブルケア」が新たな問題として浮き彫りになっている。本事業ではこのようなダブルケアをピアな関係性の中で共有できる「ダブルケアを考える井戸端～Caféおいでまい～」を開催し、ダブルケアラー同士をつなぐ場を提案する。実施に際してはゲストとして、介護や福祉、発達支援、臨床心理士などの専門家や先輩当事者を招き、より寄り添い型の支援をめざす。</p>		
■長期成果		<p>高松市保健センター：高齢者介護を担う若い世代に関わる子育てNPOとの連携は高齢者支援のために、地域及び関係機関とのネットワーク構築につながる。また心の不調や発達課題についても子育て家庭に身近な場所での相談の場づくりは地域の理解者を増やし、予防的な支援につながる。</p>		
活動風景				
 <p>心の不調 ケーススタディ</p>		 <p>高松市社会福祉協議会より質問への回答</p>		 <p>グループトーク</p>
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化		■得られたノウハウの共有・発信
<p>(得られた成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施を通して「子育てと家族のケアが複合的に重なる家庭の支援」を目指した。参加者にとって数居の低い相談の場となり、介護や福祉、発達支援、精神保健に関わる専門機関、行政担当課などに専門的アドバイスをいただくなど協力をいただきながら、連携をベースに実施することができたことは大きな成果として感じている。 ・参加者は当事者として参加をするだけでなく、後半になると、ピアな先輩当事者として体験を話すなど支え手となる場面も見られ、実施後の定期的な集会の開催、子育て支援拠点のママサポーターとしての参画など地域の中でのエンパワメント効果も生まれた。 <p>(今後の課題)</p> <p>一方で参加者は、一定の方向性を見いだせたものも参加していない家族や周囲の理解との格差が広がるなどの新たな側面や専門的支援のメニュー、数が足りないことが課題としてあがっており、次年度以降ダブルケアの理解者を増やすためのアクションが求められている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親に対してはこうした場が身近な支援の受け皿となったと同時に、当事者へ必要な情報の提供や当事者同士のネットワークの広がりが見られた。 ・保健センターや社会福祉協議会、子育て支援コーディネーターなど専門職に対しては、ダブルケアという社会課題に対しての手立てとして一定の効果を感じられる取り組みであり、相談者への情報提供、支援のひとつとしての活用が可能となった。 ・今回の事業の実施に対して「ダブルケアに関する支援」として一定の認知が高松市全体で進んだことは手ごたえとして感じており、今後の継続実施が期待されている。 ・一方で医療機関やコミュニティ協議会との連携は事業の実施のお知らせをしたり、利用者への情報提供(チラシ配布)に留まった。しかし、他方で病院側から他の支援についての情報提供があり、事業の中で紹介するなどの連携は生まれた。 		<p>もともとベースにあった専門機関や医療機関、コミュニティ協議会とのネットワークを活用し「ダブルケア」という家族のケアの視点での情報交換を頻回に行う中で、互いの役割分担、支援の連携の仕方などを改めて確認することができた。</p> <p>事業にアドバイザーや参加者、オブザーバーとして参加してもらった中で、事業に関する理解をってもらう機会にもなり、今後継続実施につながる事業理解をベースとした協働体制が得られる手ごたえを感じている。</p> <p>また、実施をSNSなどで発信することで全国の子育て支援ネットワークなどから問い合わせもあり、実施ノウハウや効果をレクチャーしたことも効果として感じている。</p>
<p>〒761-8077 (住所) 香川県高松市出作町382-1酒井ハイツ110 (団体名) 特定非営利活動法人子育てネットひまわり (ホームページ) : http://himawarinet.c.ooco.jp/</p>				<p>助成金額 500,000 円</p> <p>助成期間 H29.9.1～H30.8.31</p>

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。